

岡潔先生の無料小冊子

「情と日本人」ができました！



『情と日本人』まほろば各店にて無料配布中です。

頂いた原稿は、あまりにきれいな手書きの文章であつたため、これをそのまま生かそうと、すぐに思つた。（テキスト打ちも大変なので…）

文の主は、「多変数解析関数論」で世界にその名をとどろかせた天才数学者、岡潔氏。世界中の数学者が束になつてからつても20世紀中には答えが出ないとされたその数式を、たつた一人、瞑想と念佛行の中、導き出したと言われている。

◆
確かに、増川先生とのコラボ講演会を準備していた2月中頃のことと思う。添えられたメモには「出版できないか検討してほしい」と記されていた。

◆
会長から、きれいに清書された手書きの原稿を手渡されたのは、いつだつたろう？

◆
確かに、増川先生とのコラボ講演会を準備していた2月中頃のことと思う。添えられたメモには「出版できないか検討してほしい」と記されていた。

まほろば
No.5441 22-072 5/6

情と日本人

國
潔
先
生

一九七三年三月一日
於奈良自宅

今日初めて聞かれる方もあるかも知れませんが、その方にとつては閑係なんですが、どういふことのとうと、日本人は「情」の人である。人としてそれが自覚していな。そうであると、うことの非常に大事なのに、少しもそれをしなければならぬことであると、うことを自覚するといふことが、今非常にもらいたいと思うんです。つまり、言葉でいえば「日本人は情の人であります」しかし、それから先が進むなんですね。これは日本人だからだと思うんだけど、川を見えなくなるとけりと、これではいけないと直ぐ公害をうそすると、結局同じことを繰り返し繰り返し、「うことになつてしまふ。そうする他はない。それで今日も同じことを繰り返して、おうと思う。」



「数学者 岡潔思想研究会」主宰の横山賢二さん（左）と、録音・文字起こしをされた松澤信夫さん（右）

後、数学者岡潔思想研究会の思想を手弁当で全国に立ち上げて、先生亡き後、伝え続けて来られた。やはり若い頃から岡先生を慕う会長と、長いお付き合いがあつたようだ。

文字を書かれたのは、高
知の横山賢二さんという方
だ。若い頃、岡先生の講演
を聞き、心を打たれ、その
後「数学者岡潔思想研究会」

A man in a dark suit and glasses is seated at a white podium, speaking into a microphone. He is gesturing with his hands. To his left, a vertical white sign with black text reads '開演式、日本民族の危機' (Opening Ceremony, Crisis of the Japanese Nation). The background consists of light-colored wooden panels. In the foreground, the backs of several audience members' heads are visible, suggesting a lecture or presentation setting.

長に宛て、手紙と手書き原稿のコピーを送られたのだ。そして、会長の情深く共鳴し、出版の運びとなつた次第だ。

短い文章ではあるが、晩年の岡先生がたどり着いた境地が、平易な言葉で語られており、読みやすいのではないかと思う。しかし一見、単純な物事ほど本質を捉えており、そこには世界の混迷を解きほぐすほどの叡智が潜んでいるのだと思ふ。

私はこの20年間、この冊子を県内外に配つてきましたが、是非
が、力不足で反応はほとんどありませんでした。是非
宮下さんのお力で、これを日本全国に広めて頂きたい
と思います。岡先生のことで、私の方にも反響は随分と
上がってきておりますが、今が時節ではないでしょうか。
まあ、私の所にある岡先生の写真を同封します。
それで不十分であれば松澤さんに協力願うつもり
です。今度の企画のどのようなものになるか楽しみに
しています。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

岡潔思想研究会
高知市明倉西一〇八二二
横山 賢二
拂糸〇九〇三七八九一九三五

人の眠れるDNAの本質に目覚めて頂ければ幸いで
す。
(編集部 島田 浩)